



医療の現場は責任感とやりがい大きい。



もしものとき、地域を守る仕事に。



買い物する側では分からない苦勞も知りました。



子どもが大好き。優しい保育士になりたい。



桜ヶ丘クリニックで働いた金子乃歩さん

金子さんは、医療関係の仕事に興味があり、この職業を選び、看護や受付の体験と、診察室の見学をしたそうです。実際に体験をして、「医療の仕事は責任も重くて大変だけど、患者さんとお話したり、笑顔で帰ってくれたりしたことが嬉しかった。」と言っていました。



茨城町消防本部で働いた金澤未来翔さん

金澤さんは、消防の仕事に興味があり、消防署に職場体験に行きました。消防署では、心臓マッサージや放水訓練などを体験。放水訓練では、「暑い中、重量のある防火服を着て訓練するのが大変だった。」と語っていました。辛い体験の反面、「救急救命の訓練に取り組んで、普通救命の認定カードをもらったことが嬉しかった。」と笑顔で教えてくれました。金澤さんに将来の夢を聞くと、「もちろん消防士だよ。」と力強く語っていました。その姿を見て、金澤さんなら、きっと夢を叶えて消防士になるのだと思うました。

石崎さんは、野球部に所属しており、将来は野球関係の仕事に就きたいため、この職場を選んだそうです。石崎さんは、レジのお手伝いをしたり、商品の整理をしたりしました。スポーツに触れ合うことができるこの職場にやりがいを感じ、「将来この職場で働きたい。」と言っていました。



スポーツデポ水戸南で働いた石崎恒星さん

小学生の時から保育士が夢だった渡邊さんは、ひぬま保育園に職場体験に行きました。そこでは、子どもたちと遊んだり、着替えの手伝いをしたりしたそうです。体験の中で、「子どもたちがにこにこして楽しそうにしているところを見ることが嬉しかった。」と語っていました。渡邊さんは、「この体験で小さい子どもに合わせてあげることの大切さを学び、将来は保育園の先生たちのように、子どもたちと自然に仲良くできるようにしたい。」と笑顔で語っていました。



ひぬま保育園で働いた渡邊華さん



私たちがインタビューしました！
町秘書広聴課には、3人が職場体験に訪れました。
7月25・26日に職場体験をしている同級生の様子を取材し、今回の記事を作成しました。

僕は、この体験でたくさんの方の話を聞き、職場体験の活動をしたい。一眼レフで撮ることができ、初めは戸惑いがあったが、一生懸命に働く姿など色々な写真を撮りました。これからは、この体験を生かして頑張っていきたいです。



中村 俊介さん

僕は、今回の体験で写真の撮り方やインタビューの仕方を学びました。インタビューでは「楽しかった。」や「大変だった。」などの感想を聞きました。写真も、何度か撮るにつれて少しずつ上手に撮れるようになりました。記事を書くのは難しかったのですが、文章の書き方などを教えてもらい、書くことができました。僕は、この体験を通して取材をすることの大変さがよくわかりました。この体験を今後に生かしていきたいと思います。



小室 柊太さん

私は広報の体験をして、一眼レフで写真を撮ったり、広報いばらきに載せる記事を作ったりする楽しさを、たくさんの方に教えてもらいました。広報いばらきには、いろいろな記事が載っています。少ししか読んでいなかったが、自分の内容を考えて記事を作っていくことの大変さを学ぶことができました。多くの体験ができたので、本当に良かったです。



江橋 実咲さん



町内の中学校では、キャリア教育の一環として、職場体験学習を実施しています。今回は明光中学校2年生が、学校を離れ、町内外約50か所の事業所などでさまざまな職業を体験した様子取材しました。日頃、働く大人の姿を見る機会が少ない生徒たちにとって、職場体験は働く大人と接し、その技術や知識、思いに触れる貴重な機会です。働くことの喜びや厳しさを体験した生徒たちは、どのようなことを感じ、学んだのでしょうか。自分たちの将来に夢や希望を抱き、未来を想像するきっかけになったはずです。

未来への架け橋

働くことへの第一歩



創作フレンチ松庵

パティスリーブローニュ

桜ヶ丘クリニック

イエローハット水戸南店